

● 駆動系

・プーリーサイズの変更

出力が向上した新しいエンジンの特性に合わせて、ドライブ/ドリブンフェイス径の拡大と形状を最適化。さらにミッションレシオの見直しを行ったことで動力性能を向上しつつ、フリクション低減と静粛性向上を実現しました。

・クラッチおよびミッションシャフトの変更

クラッチの形状変更およびミッションシャフトのサイズアップにより、クラッチの接続特性と振動特性を向上、よりなめらかな走り出しに寄与しています。

■ 駆動系イメージ図 (CGイメージ)



● 吸気系

新設計として、エアクリーナーからインレットパイプまでを構成する各部品品の吸気経路を拡大。スムーズに繋ぐとともに、スロットルボディ径(φ26⇒28)を拡大することで吸気効率の向上を図っています。

スロットル低開度から力強いドライバビリティを実現するため、新たに整流板*を採用しています。

※特許出願中。

■ 吸気経路イメージ (CGイメージ)

